



酒匂の清流

2024年、令和6年がスタートしました。今年は元日に能登半島で大きな地震が起き、大変残念な年明けとなりました。被災された方々にお見舞いを申し上げるとともに、一日も早く落ち着いた生活を取り戻せることを願うばかりです。

松田小学校では、1月9日に3学期の始業式を迎えました。冬休み中に、子どもたちが大きな事故や事件に遭うこともなく、全員無事に3学期を迎えられたことを有難く思いました。これも、保護者の皆様が、子どもたちの健康・安全に心配りをしてくださったおかげだと、感謝しております。

学年末まで残り2か月余り。3月末には、子どもたち全員が自分の成長を実感し、自信をもって進学・進級することができるように、丁寧な指導に取り組んでいきます。

子どもは健康が第一である ～箱根駅伝と松田小～

始業式で、松田小学校の卒業生である、「澁谷壽光さん」の話をしました。澁谷さんは、今から120年前の1904年に松田小学校を卒業されました。そして、今年第100回の記念大会となった「箱根駅伝」を創設したメンバーの一人だった方です。

箱根駅伝は、1921年（大正9年）に第1回大会が開かれました。

この駅伝大会のコースを決めるにあたっては、茨城県の水戸市や栃木県の日光市をスタートして東京まで走る片道コースと、東京と箱根を往復するコースの3つが考えられ、様々な理由から、東京一箱根間が選ばれたと言われています。そして、大正・昭和・平成・令和と4つの時代を経て、今では100回を数えるほどの大会になり、お正月の風物詩にもなりました。また、駅伝は、英語でも「EKIDEN」と言われ、柔道や相撲のように、日本語がそのまま英語として使われる言葉にもなっています。

そして、澁谷さんをはじめとした関係者の方々がいろいろと考えて大会を開き、その考えに共感した多くの人たちが、長年にわたって丁寧に取り組んだおかげで、今の私たちが箱根駅伝を楽しめるのだと感じました。また、陸上競技に関わった澁谷さんは、「子どもは健康が第一である。健康でさえあれば何事もやり遂げることができる」という言葉を添えて、松田小学校に50万円を寄贈してくださいました。そのお金を基金として、今から30年くらい前まで、松田小学校には「澁谷賞」という賞がありました。澁谷さんがお亡くなりになった後も、その遺志を継いで、ご長男の裕さんが、毎年のように松田小の持久走記録会に駆け付け、子どもたちにエールを送ってくださいました。

2002年（平成14年）に松田町教育委員会は、澁谷さんの善意に感謝し、教育功労賞を送りました。写真のレリーフはそのお礼として、澁谷裕さんが寄贈されたものです。子どもたちには、箱根駅伝と松田小学校とのつながりを知り、これからの励みにしてもらいたいと考えました。そして澁谷さんの言葉どおり、「健康第一」で元気に学校生活を送ってほしいと願っています。

（レリーフは、しばらくの間、校長室前の廊下に展示してあります。）



安全・安心のために =登校時刻=

松田小学校では、正門を7時30分、昇降口を8時に開放しています。登校が早い子どもたちは、校庭で約30分間待つようになります。

朝の時間の防犯や雨天時の待ち時間の過ごし方を考慮すると、7時45分以降の登校が安心できるかと考えております。子どもたちの安全・安心のために、ご理解・ご対応いただきますよう、お願いいたします。

成長しました ～学校公開～

来週の27日（土）に、今年度最後の学校公開が予定されています。1回目（6月）、2回目（9月）の学校公開を振り返り、子どもたちが約10ヵ月で身に付けた能力を感じていただきたいと考えております。また、保護者の方々に喜んでいただける展示も準備しております。是非、ご来校いただき、子どもたちの成長をご覧ください。